

2つのムダな大型公共事業 キツパリ変えます

ムダな公共事業は中止し大幅な国保料引き下げを！

原市政は、徳島市の国保料を8年間で3回値上げをし、一人当たり1万9千円もの負担を増やし、県庁所在都市で全国一負担の高い国保料にしてしまいました。来年度は、一人当たり7千円の引下げをすることですが、これは、「高すぎる国保料をなんとかして欲しい」という市民の切実な声に、市が引下げざるを得なくなったものです。

しかしこれは、取り過ぎていた分の黒字10億2千万円のうち、1部の3億6千万を使って引下げただけです。それでも、「全国トップクラスの高さの国保料」という実態は変わりません。新町西再開発や鉄道高架の無駄遣いをやめれば、低所得者をはじめ市民の保険料を大幅に引下げられます。そんな市政につくり変えます。



- 介護保険料を大幅に引き下げる予算に変えます。
- 介護保険制度の改善を国に求め必要な介護を受けられるよう市独自の改善策をつくります。



新町西再開発は、音芸ホールが大半を占める再開発で、事業目的の「中心市街地活性化」にはつながりません。

また、文化センターを耐震診断もせずに放ったらかして、「老朽化したから壊す」としています。

文化センターを耐震リニューアルして長持ちさせ、新ホール建設の積立金を増やし、将来旧動物園跡地に立派なホール建設をする市政に切り変えます。

ムダな鉄道高架!?



平成18年度に国が着工準備採択しましたが、一步も事業は進んでいません。この事業目的は「交通混雑の解消」ですが、「本数のきわめて少ない牟岐線を高架にする」というように事業目的にも反したムダ使い計画で、全国でも例がありません。これをキツパリ中止させます。



とえだ 修

徳島大学名誉教授 無所属 日本共産党推薦

徳島市長選挙は3月25日投票

市民の手で
変えよう
徳島!!



吉野川住民投票から11年 今度も市民の手で変えよう! 徳島

徳島は「海洋パーク」「吉野川可動堰」という2つのムダな大型公共事業を住民投票運動で止めた街です。今、「新町西再開発(の音芸ホール)」「鉄道高架」というムダ使いを原市政が強引に推進しています。今度も市民パワーで、『くらし・仕事応援』『防災対策充実』の市政につくりかえましょう。

とえだ修プロフィール

1942年4月生まれ。1964年3月東京教育大学教育学部卒。1968年3月東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学。1968年徳島大学教育学部助手。1983年7月徳島大学教育学部教授。2003年3月徳島大学名誉教授。
現在、「徳島革新懇」代表世話人。「9条の会徳島」よびかけ人。「市民の手で安心と夢のあるまち『徳島市』をつくる会」代表委員。
趣味:卓球、カラオケ、映画・音楽鑑賞。

154億円

新町西再開発

750億円
(市負担190億円)

鉄道高架を中止し

くらし・仕事応援、防災対策充実の市政に

防災対策を充実させます

- 全この市民に、地震・津波からの避難対策を確立します。
- 木造住宅耐震化工事(平均工事費約160万円)の補助金を60万から150万円に引き上げます。
- 全この町内に自主防災倉庫の設置や、防災訓練のための補助制度を作ります。

子育てを応援します

- 子どもの医療費を中学校卒業まで無料にします。
- 小中学校全この学年で少人数学級を実現します。
- 小中学校の給食費を半額助成します。
- 全この小中学校の教室にエアコンを設置します。
- 保育料を引き下げます。

消費税増税、原発再稼働など国の悪政から市民を守る、防波堤になります。

国の悪政をそのまま市民に押し付ける原市政

野田政権がすすめる消費税増税、原発推進・再稼働、TPP参加に反対せず、国の悪政をそのまま市民に押し付けているのが原市政です。

《原市政を変えて》

消費税増税に反対し市民のくらしや、中小零細業者の営業を壊す国の悪政にストップをかける役割を果たします。

伊方原発の再稼働を許さず

脱原発の立場から、自然エネルギーの普及をすすめます。

TPPに反対し農林水産業、医療、雇用などを守ります。

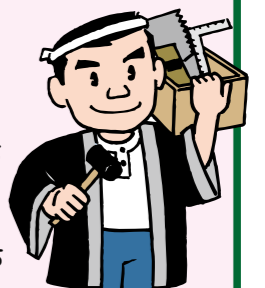


中小企業を経済の中心にあえ応援する政治を実現します。

- あべこの中小零細企業の実態とニーズを把握し中小企業を地域経済の中心にあえる振興条例をつくれます。
- 正規雇用を増やし時給1,000円を実現するための補助金制度をつくれます。
- 公契約条例をつくれます。

市内業者に発注する公共工事を増やします

- 市内業者が請け負う『住宅リフォーム助成』を制度化します。
- 防災対策の大半は地域業者が請け負える公共事業です。
- 防災対策の充実で地元業者の仕事を増やします。
- 地元業者の請け負える公共事業を増やし地元業者への発注率を高めます。



みんなの願い 実現します



吉野川河口をラムサール条約の登録湿地に

くらしやあい街を実現します

- 市内全域に地域をグルグル回る小型バス等を走らせ、市民の足を守ります。
- せまい路地まで入れる小型ゴミ収集車を増やすなど、市民のニーズにあった収集を行います。
- コミュニティセンター等の補助金を増やし、利用料の軽減等制度を見直します。